

まほらいな市民大学の様子

令和8年2月17日（火）

『 飯田線の歴史と魅力 』

講師 まほらいな市民大学指導員 二木 栄次 氏



市民大学指導員の二木栄次氏は、こどものころから鉄道が大好きで、飯田線の辰野から豊橋まで何回も乗ったことがあるといます。そして「飯田線の歴史と魅力」を資料にまとめ講演しました。明治時代、国鉄中央本線の誘致合戦が木曾と伊那で行われ、木曾ルートに決定。中央線を伊藤大八が辰野経由にし、伊原五郎兵衛が辰野から飯田まで天竜川水系の電力で電車を通すという壮大計画を実現。伊那谷の産業発展に大いに貢献をしました。天竜峡から先の三信鉄道は険しい峡谷で、測量士川村カネトの尽力で多くのトンネルと鉄橋でつなぎ豊橋まで行くことができるようになった歴史の話。また、JR 最急勾配地点やΩカーブ、日本一の景色と秘境駅、鉄道唱歌額や歴史資料のある平岡駅、まぼろしの高遠線や中津川線、いくつもある面白い駅舎などきれいな写真を映しながら飯田線の魅力について話がありました。

学生からは「楽しく拝聴しました。飯田線の歴史をひも解くと様々な出来事があり、今日の伊那谷の産業や経済の発展に寄与していることが分かりました。名古屋まで飯田線を使って出張した当時を思い出しました。」「伊藤大八、伊原五郎兵衛、川村カネトなど多くの人々の努力や、飯田線の日本一（景色や登り坂）を学ぶことができ、歴史を鉄道から見ると違う見え方がしてとても楽しかったです。」「豊橋まで鈍行で6時間、急行で4時間。景色を眺める以外にすることがなく、ひたすらトンネルの数をかぞえた思い出がよみがえりました。」「川村カネトが測量し、飯田線建設に尽力された。その時の資料が今も旭川市の“アイヌ記念館”に展示されています。ぜひ訪れてほしいと思います。」「二木さんの鉄道愛をひしひしと感じました。高遠電気軌道の話等楽しく聴かせていただきました。ゆっくりの飯田線に乗ってみたいくなりました。」といった感想がありました。